

Press Release

ジャミール商事株式会社とタッチエンス株式会社の連携開始のお知らせ

2020年12月7日

ジャミール商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：榎並滋喜、以下「当社」）は、2020年12月1日付で、タッチエンス株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役：丸山尚哉、以下「タッチエンス社」）と触覚データを活用したヘルスケア分野での事業開発に向けた連携の実現に向けて、基本合意に至りました事をお知らせいたします。

超高齢化社会を迎える日本において、健康寿命を延伸し、人生を全うする直前まで各人が不自由なく日常生活を送ることができる社会を実現することは、大きな意義があります。健康寿命の延伸実現においては運動習慣を身に付けることが非常に重要であり、高齢者の体力低下や怪我、認知症、脳血管疾患の予防に有効と考えられています。

また、近年、子供に対して本人に最適な靴を選び、正しい履き方や歩きかたを身に付けていく事で足の正しい発達をサポートする、足育という取組みが注目を集めています。足育によって、子供の健やかな成長が促され、さらには運動能力が向上することが期待されています。

両社は、タッチエンス独自の触覚センシング技術とジャミール商事のもつヘルスケア市場でのネットワークを組み合わせることで、これまで測定が困難であった人間の足裏の触覚情報のデジタル化と、その足裏触覚データと健康状態との相関の明確化を実現し、上記の高齢者の運動習慣改善及び、子供の足育に関わる、今までにない製品・サービスの開発を通じて、QOLの向上に貢献していくことを目指してまいります。

また、この基本合意による連携は、タッチエンスの経営理念であり、ジャミール商事も賛同する「会社は社会の公器である」とする公益資本主義の考えに基づき運営され、本事業を通じて、社中（社員・顧客・仕入先・地域社会・地球・株主などの事業活動における全ての関係者）全体に貢献してまいります。



<タッチエンス株式会社について>

タッチエンス株式会社は、触覚を科学する (Touch + Science) ことを経営目的として、2011 年に設立されました。世界でも珍しい触覚に特化した企業で、大学で研究されていたユニークな触覚センシング技術を集め、製品化する開発を行っています。詳細については、<http://touchence.jp/> (日本語) をご参照ください。

<ジャミール商事株式会社について>

ジャミール商事株式会社は、1996 年にアブドウル・ラティフ・ジャミール社の日本法人として設立されました。自動車や再生可能エネルギー、ヘルスケアを中心に事業を展開しております。日本企業やアジア企業との連携により、中東、北アフリカ、トルコ及びアジア地域に幅広く日本の優れた製品や技術を輸出する総合商社を目指しています。詳細については、<https://alj-japan.co.jp/> (日本語) をご参照ください。

<アブドウル・ラティフ・ジャミール社について>

アブドウル・ラティフ・ジャミール社は、世界 30 か国以上でビジネスを展開する国際企業です。1945 年にサウジアラビアで創設され、現在では、自動車事業やエネルギー事業、金融事業等の幅広い分野で事業を展開しています。詳細については、<http://www.alj.com> (英語) をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

ジャミール商事株式会社

担当：蜂谷、瀧上

E-mail: info@alj-japan.com